

## 答 辞

春の色を帯びた風が、優しく背中を押ししてくれる心地良さを感じる今日の良き日、私たち十五名は晴れの卒業式を迎えることができました。先程は菅野校長先生を初め、ご来賓の方々、在校生代表からの温かい応援の言葉をいただき、大変身の締まる思いです。

今思えばこの中学校生活はあつという間に過ぎてゆき、友の顔は三年前のまだ幼かった表情から自分の未来を見据える大人びた表情になっていきます。ぶかぶかだった制服も背丈が伸び、窮屈に感じるようになりました。そんな私たちも、今日この日を迎え、次のステージへと大きく一步を踏み出そうとしています。それは、義務教育という時間の全てを、ともに過ごしてきた私たちが、それぞれの道を歩み始めるとても大切な一步です。踏み出す前にもう一度思い出を振り返ってみましょう。

中学校生活の中で二年半という長い時間を費やした部活動。切磋琢磨する中で芽生えた負けたくないと思う心、後輩ができてからの先輩としてのプライド、部員をリードする責任など部活動は私たちにスポーツの楽しさだけでなくたくさんのことを教えてくれました。

前代未聞の三冠達成を成し遂げた親子球技大会。その背景には、私たちが長年の間に培ってきたチームワークと、持ち前の明るさ、優れ

た運動神経だけでなく、保護者の方々の力強いプレーと支えがありました。他にもサーブの時の謎の応援コール、試合に勝った時の痛いぐらいのハイタッチ、今でも思い出すと笑顔になるのは私だけではないはずです。

華の文化祭。三年間協力して演じきった三つの劇、「宇津峰の少女ハイジ」「小塩江城姫物語」「桃太郎伝説」真実はいつもいくつ？  
『自分たちの違った一面を見られたことはもちろん、私たちの想定以上に、先生方が熱演してくださったこともいい思い出です。そして個性派集団による个性的なフリーステージ。一か月前からの厳しすぎる練習。筋肉痛に耐えての練習があつてこそその盛り上がりでしたね。他にも数え切れないほどの思い出があり、それらの全てが、つい昨日のここのように鮮明に浮かび上がってきます。

このような充実した学校生活を送ることができたのも、たくさんの支えがあつたからです。私たちのためにナオトさんや内堀さんを招いての貴重な体験の場をたくさん設けてくださった菅野校長先生、元気すぎるぐらいの私たちを様々な面からサポートしてくださった諸先生方、そして担任として大きな心で見守ってくださいました大堀先生、星先生、池田先生にはとても感謝しています。

中学生の私たちが思春期を迎え、何に対しても反抗していた時、いつもそばにいて支えてくれた両親にも今の素直な気持ちを伝えたい

と思います。本当にありがとうございました。

そして在校生のみなさんに。私が中学一年生だったころ、卒業する先輩が「小塩江中学校は小規模校であり、小規模校ならではの伝統やすばらしいところがたくさんある。」と教えてくださいました。それから二年あまりが過ぎ、まさにその通りだったと思います。小学校からの変わらない仲間も、先生と生徒の仲の良い光景も、小塩江中学校で過ごした全てが、この学校の良さであり、私たちの誇りです。みなさんには、この誇りを受け継いで、小塩江中学校の更なる発展に努めてほしいと思います。

最後に、三年生のみんなに。みんなには言いたいことが、伝えたいことがたくさんありすぎて、上手くまとまりません。ただ、たくさんのありがたさを伝えたいのです。楽しい日々をありがとう。たくさん笑顔と笑いをくれてありがとう。笑顔を向けると、笑顔を返してくれるみんなのことが、大好きです。その感謝の気持ちを込めて、今日は、いつもの笑顔で卒業しましょう。みんなと出会って過ごした日々は、私の青春でした。本当にありがとう。

この色あせることのない思い出と共に、新しい一步を踏み出し、進みゆくことを誓い、答辞といたします。

平成二十七年三月十三日

卒業生代表

